

# アカマツ林成木調査報告(2015.12.12実施)

## 1 はじめに

アカマツ林成木調査は、アカマツ成木の生育状況やマツ枯れ被害等を把握し、調査結果を今後の整備作業や計画に反映させていくことを目的に、A地区からF地区の全地区の成木を対象として毎年調査を実施しています。

今回は、昨年12月12日(土)に実施した成木調査についてご報告します。

## 2 調査内容

今回の調査ではA地区からF地区のすべてのアカマツ成木(胸高直径3cm以上)を対象に、各個体の胸高直径の測定と、樹勢の判定(今回から実施)及び特記事項等の確認を行い、調査票に記録する作業を行いました。

当日は参加人数の関係で世話役と助役の2名での調査となり、また、活動時間がうん・えー会後の午後の時間に限られていましたが、前回調査時に個体識別用のナンバーラベルを胸高直径の測定位置に設置していたおかげで、そのラベル位置に直径尺を巻くだけでスムーズに胸高直径の計測ができ、時間内にすべての成木の調査を終了することができました。

### 【胸高直径の計測】



## 3 調査結果

胸高直径の測定と樹勢の判定結果は次頁の別表のとおりです。

### (1) 胸高直径について

1年前の前回調査時(H27.1.18実施)の値と比較してほぼ全ての個体で伸びがみられました。全体平均では0.6cmの伸びとなっており、胸高直径が大きくなっていることがわかります。

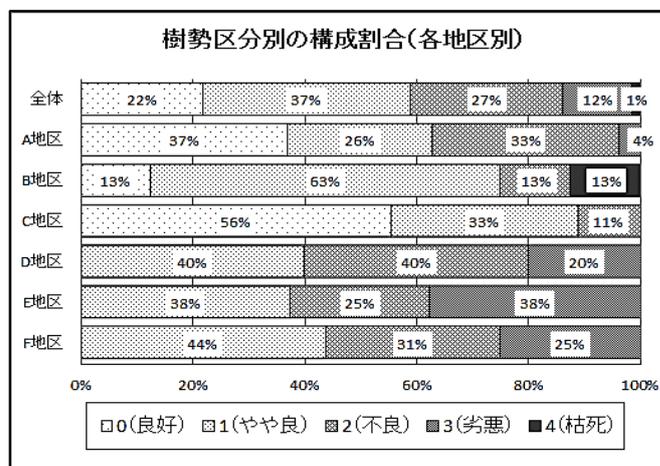
### (2) 枯損の状況について

D地区では、前回調査の際に枯れかけていた個体2本(個体番号482・486)のうち482の方は改善が見られましたが486は伐採されており、他にもう1本の伐採を確認しました。(個体番号485)

この他、B・F地区でそれぞれ1本ずつ伐採予定と思われる赤テープの巻かれた枯れ気味の個体が見られました。

### (3) 樹勢について

下のグラフは各地区別の樹勢区分別の構成割合を示しています。D・E・F地区では生育状態が良好な個体がなく不良・劣悪な個体が多いことがわかります。



## 4. おわりに

今回の調査の結果、地区によって生育状況に違いが見られことが改めてわかりました。

特に、樹勢の確認によってD・E・F地区の生育状況の改善が課題であることを再認識しました。

枯木の伐採や枯れ気味の木があることも踏まえ、今後は各地区での次世代のアカマツ育成が大事であると感じました。

現在進めている整備作業によって生育環境の改善が見られる部分もあるので来年の調査でどのような結果が出るかが楽しみです。

(アカマツ林調査 世話役 中嶋)

アカマツ林成木調査結果一覧表

調査区域	No	個体(タグ)番号	胸高直径(cm)※ <sup>1</sup>			樹勢※ <sup>2</sup>
			今回(H27.12.12)	前回(H27.1.18)	差	
A地区	1	505	22.7	21.8	0.9	1
	2	506	44.4	43.6	0.8	0
	3	507	24.9	24.8	0.1	0
	4	508	37.6	36.6	1.0	0
	5	509	44.0	43.3	0.7	0
	6	510	61.6	61.3	0.3	0
	7	511	53.2	52.5	0.7	0
	8	512	49.7	49.4	0.3	2
	9	513	52.0	51.4	0.6	2
	10	514	61.3	60.5	0.8	0
	11	515	41.1	40.0	1.1	0
	12	516	52.7	51.7	1.0	0
	13	517	53.5	52.7	0.8	1
	14	518	42.0	41.2	0.8	2
	15	519	47.4	47.1	0.3	1
	16	520	11.0	10.3	0.7	3
	17	521	43.1	41.7	1.4	1
	18	522	15.3	15.2	0.1	2
	19	523	17.8	17.0	0.8	2
	20	524	38.5	37.6	0.9	1
	21	525	14.9	14.4	0.5	2
	22	526	47.3	46.7	0.6	0
	23	527	40.2	39.3	0.9	1
	24	528	31.8	31.2	0.6	2
	25	529	47.8	46.7	1.1	2
	26	530	38.8	37.4	1.4	1
	27	531	19.7	19.4	0.3	2
平均			39.0	38.3	0.7	
B地区	1	497	59.0	58.1	0.9	1
	2	498	53.0	52.3	0.7	1
	3	499	55.1	54.8	0.3	2
	4	500	38.4	37.8	0.6	1
	5	501	50.5	50.1	0.4	0
	6	502	46.2	46.2	0.0	4
	7	503	38.6	37.6	1.0	1
	8	504	39.3	38.1	1.2	1
平均			47.5	46.9	0.6	
C地区	1	488	44.7	43.5	1.2	0
	2	489	47.7	46.9	0.8	0
	3	490	33.4	32.5	0.9	0
	4	491	43.3	42.7	0.6	0
	5	492	45.7	44.7	1.0	0
	6	493	46.0	45.3	0.7	1
	7	494	36.4	36.1	0.3	1
	8	495	50.3	49.4	0.9	1
	9	496	31.8	31.5	0.3	2
平均			42.1	41.4	0.7	

調査区域	No	個体(タグ)番号	胸高直径(cm)※ <sup>1</sup>			樹勢※ <sup>2</sup>
			今回(H27.12.12)	前回(H27.1.18)	差	
D地区	1	481	34.8	34.5	0.3	2
	2	482	23.8	23.4	0.4	2
	3	483	42.0	41.1	0.9	1
	4	484	20.7	20.7	0.0	3
	5	485	伐採	9.7		
	6	486	伐採	28.6		
	7	487	45.3	44.4	0.9	1
	平均			33.3	28.9	0.5
E地区	1	474	47.9	47.8	0.1	1
	2	475	26.1	25.7	0.4	2
	3	476	21.9	21.1	0.8	1
	4	477	11.9	11.6	0.3	3
	5	478	6.7	6.6	0.1	3
	6	479	16.9	16.6	0.3	2
	7	480	32.5	32.0	0.5	1
	8	449	6.8	6.7	0.1	3
平均			21.3	21.0	0.3	
F地区	1	450	4.5	3.0	1.5	1
	2	452	11.7	11.2	0.5	2
	3	453	26.8	26.0	0.8	1
	4	454	17.4	17.0	0.4	2
	5	455	38.8	38.2	0.6	1
	6	456	14.5	14.3	0.2	2
	7	457	52.0	51.7	0.3	1
	8	458	25.4	24.0	1.4	3
	9	459	30.2	30.2	0.0	1
	10	460	5.0	4.2	0.8	1
	11	461	4.4	3.2	1.2	1
	12	469	33.0	32.5	0.5	2
	13	470	18.2	17.4	0.8	2
	14	471	38.7	38.2	0.5	3
	15	472	13.0	12.9	0.1	3
	16	473	21.8	21.6	0.2	3
平均			22.2	21.6	0.6	

※<sup>1</sup>...胸高直径は小数点以下第1位まで計測※<sup>2</sup>...樹勢の評価基準は環境省酸性雨モニタリング(土壌・植生)手引書の樹木衰退度測定における評価基準を準用

区分	樹勢の評価基準
0	旺盛な生育状態を示し、被害が全く見られない
1	いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない
2	明らかに異常が認められる
3	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
4	枯死